

宇治市 就任一年の回顧と今後の途

市民諸君へ

市長 池本甚四郎

私が市長に就任してから満一年の計上不足約三千万圓に加えて血である。こゝで月日のたつのは早いものと云えば月並で、今の私にはそういふ複雑でいばらの途だつたという外ない。ただ自ら密かに外さずには所期の大道は凡そ踏み直ぐ十一月八日に初当庁して直ぐ月の金繰りを調べた。全くの行き詰りだ、急ぐ手廻しで五百万圓を一借して凌いだ。そして、四月末手許残が百万圓だつたので、四月末の欠があつた訳、その直ぐ年末が二千万圓に越せば越せんか。その間に助役選任、年未手交交渉に手が取られる。全くこの年になつて、生れて初めて、無体験をした事も二、三あつたと云う次第で、急の東上に辛くも国の一ヶ月融資を受け、それに地元援の助を掻き集めてやつと越年はした。が、後の送り狼は早くも新年早々の一月末金繰りで、これが年末以上に三千万圓不足と来て、今より落えてもどうにか切り抜けて来たと思ふ。

その頃よく人に言つたことだ、向うの荒波は、大赤字七千万圓(夫は約一億圓)を乗り切る心算は持つていた。腹下の足許を洗う洗つ水を防ぐの手に手を焼いたのは事実である。借り先の富業なども全う理窟が無く、それには言ひようが無い。然し借して貰ひたいというのが本当だ。然し借しながら筋の通らぬ言ひ分、外無かつたのである。

外部への借金進捗と共に、内部の引締りが一通り二通りでなく、十二月市会で、当然増や初めから

市消防本部では火災期をひかえ、防火運動週間を設定、きたる

市営結婚開始

簡素厳肅の趣旨で

一、結婚式場 川東市会館の階上を設ける。参列二十人以上以内

二、記念品 市長から贈呈する

三、記念品 市長から贈呈する

四、簡素な披露の幹旋

五、挙式手数料、式のみ五百圓

六、服装、平服が華美ならぬ

七、式場、規則等決定の上追て

八、披露の趣旨、希望の向は

道徳教育も再検討

宇治市連育友会

第二回市連育友会は五日宇治小学校で開催二百人の会員が参加

一、父兄の教育負担について

二、よりよき父母になるには

謝恩の献茶

府茶業協会、宇治茶業協会では宇治へ茶樹植栽の恩人明恵上人の謝恩のため命日十一月八日小山協会長、岩井善議会長、小永井親協会長、池本宇治市長らの一行で高山寺へ参拝、開山堂で献茶式を行った。

市消防本部では火災期をひかえ、防火運動週間を設定、きたる

就任一年の回顧と今後の途

昭和三十年国勢調査概数

宇治市人口 昭和卅年十月一日現在

総人口 四〇、〇六一人

男 二〇、三五六人

女 一九、七〇五人

世帯数 八、二七九

中小企業年末融資

(五十万円以内)

申込は、二十日まで

例年の通り本年も中小企業の年末融資については左記要領にて取扱う事となつた。必要の方は至急手続をとつて利用されたい。

解説 知っておきたい 市税のあらまし

一、自轉車荷車税

この税は自轉車又は荷車の所有者に課税されますが、その種類は次の通りであります。

一、自轉車

1. 原動機付自轉車

総排気量五〇CC以下 年額 五百圓

総排気量五〇CC以上 年額 八百圓

2. 三輪車

年額 五百圓

3. その他

年額 二百圓



宇治市連育友会

秋まつりの日、市内許渡多神社の祭礼は十一月一日好天にめぐり、めでたく、くり出すみこしの音もきける。

必す期間中に、あなたの名前を一度たしかめておきましょう。



宇治百話【5】

橋寺と斷碑

案外宇治人に知られぬ 敬尊の治績

宇治橋は今から千三百年の昔、大化二年、南都元興寺の僧道登が勅を奉じて建造した、日本最古の人も最長の橋であるとは、宇治人なら誰しも知らぬ者はない筈である。

橋寺放生院は、その創建は聖徳太子の露夢により、泰の河勝の造營するところと云われ、寺運は時に盛衰があつたが、敬尊の宇治橋再建の時、この寺も面目を改められ、宇治橋の管理をまかされ、橋寺と改められた。

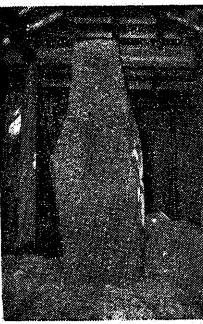
世に橋寺の斷碑と云つて、予州大後碑、陸州多賀城碑、にも我が國の古碑として珍重されているが、これは初めて道登が宇治橋架橋の功績を、后道昭が修理の時に、先師の徳をたもてて橋畔に造立したもので、土中に埋没していたのを寛政年中に発見したが、下都が欠損してないので、尾張の大小林亮が、古文獻から全文を求めてこれを石に刻し、つなぎ合せて建てたものである。

この建碑を道登の竣工の時建てたとする書も多し、それは徳をつむ仏者の心から遠くかつこの碑文からも容易にわかるから、これはやはり道昭が修理の時に顯揚したものと考へるのが自然であらう。

一方塔の島の十三塔の方は、延文、慶長、宝曆の三度に及んで、洪水、地震のために崩壊したが、明治四十一年十月、福田会多田青蓮師が宇治の有志、岩井勘造氏らとともに修築したのが現在のそれである、宇治の観光の目も鼻(或は華)とも云われているものである。

世に橋寺の斷碑と云つて、予州大後碑、陸州多賀城碑、にも我が國の古碑として珍重されているが、これは初めて道登が宇治橋架橋の功績を、后道昭が修理の時に、先師の徳をたもてて橋畔に造立したもので、土中に埋没していたのを寛政年中に発見したが、下都が欠損してないので、尾張の大小林亮が、古文獻から全文を求めてこれを石に刻し、つなぎ合せて建てたものである。

世に橋寺の斷碑と云つて、予州大後碑、陸州多賀城碑、にも我が國の古碑として珍重されているが、これは初めて道登が宇治橋架橋の功績を、后道昭が修理の時に、先師の徳をたもてて橋畔に造立したもので、土中に埋没していたのを寛政年中に発見したが、下都が欠損してないので、尾張の大小林亮が、古文獻から全文を求めてこれを石に刻し、つなぎ合せて建てたものである。



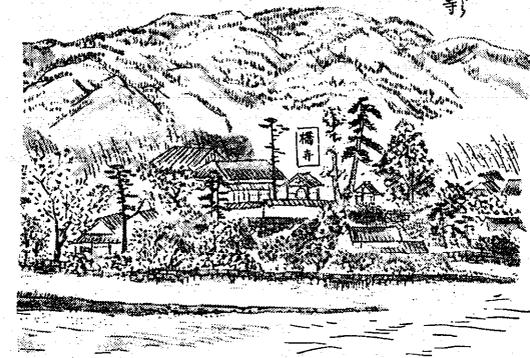
橋寺と斷碑

宇治橋はこのような南都の僧たちとの間で架橋修理され、即ち道登架橋の後、道昭これを修葺したが、兵火、洪水のために流失して中絶絶えて改修するものもなかつた。

今に於ける四大寺の大茶室と云々、興正が茶の普及に努めた治績は多い。

宇治では明恵上人の茶樹植栽に比して、この茶の普及に力あつた敬尊の功が案外知られて居ない。

敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。



橋寺と斷碑

敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。

敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。

敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。

敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。敬尊の功が案外知られて居ない。

